## PRIMERGY TX150 S6 ご使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品をご使用になる上で注意事項がございます。ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、本書をよくお読みの上ご使用願います。

2009 年 8 月 富士通株式会社

## 1. 「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド」について

「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド」(マニュアル)につきまして PRIMERGY スタートアップディスク添付のマニ ュアルは使用できません。インターネット情報ページ(http://primeserver.fujitsu.com/primergy/)内の『マニュアル』から最新マニ ュアルをダウンロードしてご使用ください。

なお、インターネット情報ページに掲載している「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド」について、以下の訂正事項 があります。

### <u>「リモートマネジメントコントローラユーザーズガイド:B7FH-5631-01」への訂正事項</u>

訂正 3.1 Web インタフェースの起動 (関連ページ:P19)

誤)

#### POINT\_

▶ ServerVlew S2 の「リモートマネージャ」画面からリモートマネジメントコントローラWebインターフェースを起動することも出来ます。

正)

# POINT

▶ ServerVlew Operations Manager の「リモートマネジメント」画面からリモートマネジメントコントローラWebインターフェースを起動することも出来ます。

#### 追記 4.1.1 System OverView (関連ページ: P26)

該当ページの表に、以下の項目を追加いたします。

項目	機 能 · 仕 様
Asset Tag Configuration	資産タグ設定 情報が入力でき、資産管理に利用することができます。
System Asset Tag	資産タグ設定 情報が入力でき、資産管理に利用することができます。 システム資産タグシステムの資産管理に使用できます。40 桁まで入力 できます。 使用可能文字種は 7Bit ASCII コードの文字です。その中で次の記号 は問題が発生する可能性があるため、使用しないようにしてください。 > < " / \ = ! ? ; , &

訂正 4.1.2 System Component Information (関連ページ: P28)

該当ページの表の『System Memory Information』項目について、太字下線部が訂正箇所となります。

誤)

	項目	機能・仕様
System Memory Information		サーバ搭載メモリ情報が表示されます(「iRMC S2」のみ)。
	No	メモリカードの通し番号 が表示されます。
	Status	メモリスロットの搭載 有 無 が表 示されます。
	Config Status	メモリの状 態 が表 示されます。
	Module Size [MB]	メモリのサイズが[MB]単位で表示されます。
	Module Frequency	メモリの動作 周 波 数 が [MHz] 単 位 で表 示されます。
	Memory Approved	メモリの認 証 状 況を表 示します (N/A、NO でも問 題 ありません)。
	CSS Component	ユーザが交 換 可 能 であるか否 かが表 示されます。

正)

百日	
	1茂 邦ビ・1上 作家
System Memory Information	サーバ搭載メモリ情報が表示されます(「iRMC S2」のみ)。。
	memory action(コレクタブルエラーカウンタのクリア)を実施す
	るメモリを選択します。
Salaat	<u>注意事項:</u>
Select	▶ <u>この操作は保守操作です。「状態」表示が「OK」のメモリに対</u>
	して実 施した場 合、エラーカウントがクリアされ、メモリの予 兆
	<u>監視が正しく行われなくなります。</u>
No	メモリカードの通し番号が表示されます。
Status	メモリスロットの搭載有無が表示されます。
Config Status	メモリの状態 が表 示されます。
Module Size [MB]	メモリのサイズが [MB] 単位で表 示されます。
Module Frequency	メモリの動作周波数が[MHz]単位で表示されます。
Memory Approved	メモリの認 証 状 況 を表 示します (N/A、NO でも問 題 ありませ
	ん)。
CSS Component	ユーザが交換可能であるか否かが表示されます。

訂正 4.5.3 Voltage and Current (関連ページ: P49)

該当ページの表の『Voltage Sensor Information』項目について、太字下線部が訂正箇所となります。

### 誤)

項目	機 能・仕 様
Voltage Sensor Information	電圧センサに関する情報です。
No	電 圧 センサの通し番 号 が表 示されます。
Designation	電 圧 センサ名 が表 示されます。
Current	現在の電圧値が表示されます。
Minimum	許容最小電圧値が表示されます。
Maximum	許容最大電圧値が表示されます。
Nominal	規定された電圧値が表示されます。
Status	現在の電圧値から、異常な状態かどうかが判断されて表示され ます。 ・OK:問題ありません ・N/A:未接続またはデジタルセンサ(ON/OFF のみ) ・Upper-Warning:上限警告 ・Lower-Warning:下限警告 ・Power Off:サーバの電源がOff のため状態が取得できません

#### 正)

項目	機能・仕様
Voltage Sensor Information	電圧センサに関する情報です。
Νο	電圧センサの通し番号が表示されます。
Designation	電圧センサ名が表示されます。
Current	現在の電圧値が表示されます。
Minimum	許容最小電圧値が表示されます。
Maximum	許容最大電圧値が表示されます。
Nominal	規定された電圧値が表示されます。
Status	現在の電圧値から、異常な状態かどうかが判断されて表示され ます。 ・OK:問題ありません ・N/A:未接続またはデジタルセンサ(ON/OFF のみ) ・Upper-Warning:上限警告 ・Lower-Warning:下限警告 <u>・Upper-Crit:上限異常</u> <u>・Lower-Crit:下限異常</u> ・Power Off:サーバの電源がOff のため状態が取得できません

訂正 4.7 Server Management Information (関連ページ: P56)

該当ページの表の『ASR&R Options』項目について、太字下線部が訂正箇所となります。

誤)

項目		機能・仕様
ASR&R Options		サーバの再起動に関する設定を行います。ここで設定する情報 は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映されます。
	ASR & R Boot Delay	ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われた後、こ こで設定した時間(単位:分)が経過すると、サーバは自動で電源 を投入します。ただし、「Retry Counter」の設定値が0の場合は、 自動起動しません。
	Retry counter	異常が発生し、サーバがシャットダウンされた後の自動再起動回数を、0 ~ 7 の間で設定します。このカウンタ値は、ファン異常、 温度異常、OS Watchdog Timeout、Boot Watchdog Timeout で再起動が行われるたびに、1 ずつ減少します。カウンタ値が0 に なると、自動起動しません。
	BIOS recovery flash bit	<ul> <li>BIOS の自動書き換えを設定します。</li> <li>Enabled <ul> <li>自動書き換えを有効にします。BIOS 自動書き換えエリアに書き</li> <li>換え対象の BIOS イメージが設定されている場合、自動的に</li> <li>BIOS の書き換えが行われます。未サポートです。</li> <li>Disabled <ul> <li>自動書き換えを無効にします。</li> </ul> </li> </ul></li></ul>
	Power Cycle Delay	Power Cycle 実行時に、Power Off から Power On を行うまでの時間を 0~ 15(単位は秒)で設定します。

正)

項目         機能・仕様           ASR&R Options         サーバの再起動に関する設定を行います。ここで設定す は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映されます。 ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われた こで設定した時間(単位:分)が経過すると、サーバは自動	る情報 ます。 た後、こ で電源 合は、
ASR&R Options         サーバの再起動に関する設定を行います。ここで設定す は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映される ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われた こで設定した時間(単位:分)が経過すると、サーバは自動	る情報 ます。 た後、こ で電は、
は、サーバの BIOS セットアップユーティリティにも反映される           ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われた           Cで設定した時間(単位:分)が経過すると、サーバは自動	<u>ます。</u> た後、こ で電源 計合は、
ファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われたASR & R Boot Delayファン異常、または温度異常によるシャットダウンが行われたこで設定した時間(単位:分)が経過すると、サーバは自動	た後、こ で電源 引合は、
ASR & R Boot Delay こで設定した時間(単位:分)が経過すると、サーバは自動	で電源  合は、
	易合は、
-   ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・   を投入します。ただし、' Retry Counter」の設定値が0 の場	1
自動起動しません。	
異常が発生し、サーバがシャットダウンされた後の自動再調	起動回
Betry counter May 数のデフォルト値を、0 ~ 7 の間で設定します。	
Retry counter Max システムが継続して 6 時間稼動していた場合、当項目で設	と定され
<u>た値は下記項目のリトライカウンタに反映されます。</u>	
現在のサーバの自動再起動回数を表示します。0~「リト	ライカウ
ンタ 最大」値の間が設定可能な値です。このカウンタ値は	、ファン
異常、温度異常、ソフトウェアウォッチドッグ タイムアウト、B	ootゥ
Betry counter オッチドッグ タイムアウトで再起動が行われるたびに、1 ず	つ減少
Retry counter します。カウンタ値が0 になると、自動起動しません。	
注意事項:	
▶ 本項目の設定を変更した場合、設定をサーバに反映さ	<u>らせるた</u>
めにサーバの再起動が必要です。	
BIOS の自動書き換えを設定します。	
•Enabled	
自動書き換えを有効にします。BIOS 自動書き換えエリア	′に書き
BIOS recovery flash bit   換え対象の BIOS イメージが設定されている場合、自	動的に
BIOSの書き換えが行われます。未サポートです。	
• Disabled	
自動書き換えを無効にします。	
Power Cycle 実行時に、Power Off から Power On を行	テうまで
Power Cycle Delay   の時間を0~ 15(単位は秒)で設定します。	

訂正 4.11.1 BIOS Text Console ■Text Console Redirection (関連ページ:P75) 当項目全体について、以下の内容にて読み替えてください。

## Text Console Redirection

リモートでテキストコンソールのリダイレクションを行う場合は、BIOS Text Console画面で[Start Console Redirection]をクリックした後、表示されたWeb 画面上の[Login]をクリックします。



項目	説明
BMC(FW:)	ログオン後、iRMC S2ファームウェアのバージョンを表示します。
IP Address	iRMC S2に設定されたIPアドレスが表示されます。
[Logon]	「IP Address」に表示されているiRMC S2にログオンします
[Logoff]	iRMC S2からログオフします。
Rower Management:	サーバの電源制御を行います。サーバに対して行う操作を選択します。
rower management.	「Status」をクリックすると、現在のサーバの電源状態が表示されます。
Command	サーバに対して行う電源制御操作のコマンドを選択します。
Power On	電源を入れます。
Power Off	電源を切ります。
Reset	再起動します。
Power Cycle	電源を切り、再度電源を入れます。
Shutdown	シャットダウンします。
Console Redirection:	iRMC S2にログオンしている場合のみ有効です。
[Enter Console]	コンソールリダイレクションを開始します。
[Leave Console]	コンソールリダイレクションを終了します。

# 修重要

#### BIOSテキストコンソールで起動したWeb画面に何も表示されない場合

▶ BIOSテキストコンソールで起動したWeb画面上の[Logon]、[Enter Console]をクリック後、オンライン状態となったが 画面に何も表示されない場合は、クライアント側のキーボードで【Ctrl】+【r】キーを押してください。画像の再読込を行います。

# POINT

▶ テキストコンソールのリダイレクションは、テキストベースのコンソールリダイレクションです。POSTからOS (Windows/Linux)の起動開始まで(BIOS設定含む)のリダイレクションが行えます。